

コミュニケーションができなければ、魂が生きる力を失ってしまう

高山裕子・教員（小田原キャンパス）

講義のあと、「出会う・つなぐ・変える」について、考えました。
不覚にも、永井さん、宮脇さん、豊田さんのお話を聞いて涙してしまいました。
幸い小田原キャンパスは、私ひとりだったので、他人に見られずにすみしました。

医療事故は、起こってはなりません。私は、一人の医療者として、そう思います。
不幸な事故で、大切なご家族を亡くされたなど、その苦しみは私などには到底理解できないものだと思います。
ただ、失敗や事故は、どうしても起きてしまいます。
そして、事故を起こした医療者の多くも、やはり苦しんでいます。

困難な問題に立ち向かわれた方々を、尊敬すると同時に、
こうして世の中が動き出したことに、人が集まって物事を動かす力のすごさを感じました。
不謹慎かもしれませんが、皆様の姿に、感動しました。

そして、私自身の今回の（勝手な）出会いは、
お写真にあった、福島先生でした。
2年ほど前ででしょうか、当時高校生で、独学で指字を学んでいた娘が、
福島先生に突然のメールをしました。
返信がすぐにきたそうです。
福島先生ご自身から、「近いうちに会えるかもしれない」と。
先生がどうやってメールの返信をなされたのかは、わかりません。
ただ、「コミュニケーションができなければ、魂が生きる力を失ってしまう」
写真に添えられたこの言葉で、わざわざ娘の失礼なメールにお返事をくださった訳が、わかったような気がしました。

その後、メールは途絶えました。
先生がご病気とも聞き、娘とともに心配していましたが、お元気そうなお写真に、少し安心しました。
あの時の娘は、法曹をめざし、この春法学部に進学しました。
私の心のなかで、勝手につながりお伝えすることができました。
ありがとうございました。

次の講義もとても楽しみです。

あと3分で締め切り！ 尻切れトンボですが、このまま送ります。